

# 大会実施要領

(新型コロナウイルス感染症対策)

## 大会要項（参加者募集）における確認事項

○次のことが当てはまる人は**大会に参加できない**。



※大会当日、会場入口前で検温を実施

- ◎体温が**37.5度以上**ある人や**37度以上あり且つ風邪症状**がある人
- ◎同居家族や身近な知人に感染者または感染の疑いのある方がいる人
- ◎過去14日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人
- ◎基礎疾患のある人

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人

※基礎疾患のある人が理由あって参加する場合は、主治医の承認を得るものとする。

- 大会に申し込む人は、**自己の責任**において当日の大会に参加するものとする。
- 過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、大会参加について医師と相談して決める。
- 大会参加者（選手・監督・大会役員・係員）以外の方の入場は、その**大会要項に定められた人数**に限る。制限人数内でも**発熱や風邪症状がある方**の入場は**厳禁**とする。（入場者はマスク着用）

## 大会当日の注意事項



- 着替えは原則自宅<sup>①</sup>で済ませておく。  
やむなく大会会場内の更衣室を利用する場合は密を避け、交代で使用する。
- 大会に参加する時は、マスクを必ず着用すること。（外出時から着用）  
マスクは複数枚持参することが望ましい。



- 靴を入れる袋を持参して、各自で靴の管理をすること。  
会場以外を裸足で移動しない。主催者が配布するビニール袋を靴入れとして使用する場合は、使用後ビニール袋を必ず家まで持ち帰ること。会場内で捨てない。
- 参加する全ての方は、係員の誘導に従って行動すること。
- 施設内に入場する人は、全員必ずマスクを着用し、私語を慎むように心がける。
- 入場する時も含めて、常にフィジカルディスタンス（他の人との距離）を約2m（最低でも1m）確保する。試合会場へ入場する選手の人数制限討を検討する。



- 会場内に入る時は、必ず足の消毒を行うこと。消毒液や除菌ティッシュなどは各自持参のものでも可。（主催者側も準備する。）  
ごみは必ず各自家まで持ち帰ること。



- 試合前および試合後に、手洗い・うがい・手指のアルコール消毒を行う。
- 自分の剣道具および竹刀・面手拭などを他の人に使わせない。  
また他の人の物を使わない。（忘れ物をしないこと。）
- 食事の空箱・ペットボトル・持参した物など、ごみは必ず持ち帰ること。  
会場内で捨てないこと。



## 試合について

### ※道具の貸し借りは禁止



#### 【選手、監督】

- 飛沫防止対策用の面を必ず使用する。面マスクを必ず着用する。
- 面マスクの着用については、酸欠にならないように①立体的に覆う（マスクと口の間に少し空間を設ける）②鼻を出して覆うなど、工夫することが大切である。
- 目印は、必ず自分の物を使用。会場内外では常にマスクを着用する。
- 監督は、声を出して指示を出さない。選手は、声援をしない。応援は拍手のみとする。
- お互いに鏝ぜり合いにならないように試合を行う。もし鏝ぜり合いになったらすぐに分かれるか、引き技を出し、掛け声は出さないこと。（引き技の発声は可）
- 試合が終了したら、すみやかに会場（施設）から退出する。
- 大会中に発熱したり体調が悪くなった時は、棄権してすぐに帰宅して経過観察する。
- 開会式では、選手整列を実施しない。
- 第1試合に出場する選手は、開始時刻の10分前には各試合場にて待機する。

全国予選を除く県内大会の場合、時間内で勝敗の決しない場合の判定制採用も可

#### 【審判員】

- 大会当日、審判会議は実施しない。事前に配布した打合せ資料を熟読して参加する。
- 審判員は、当分の間、必ずマスクを着用して審判を行う。
- 自分用の審判旗を持参する。大会本部の審判旗を使う場合は、使用前および使用后に必ずアルコール消毒をすること。
- 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、暫定的な試合・審判法にて試合を実施する。
- 試合時間を短縮することも可。延長戦は区切って行い、必要があれば休憩を入れること。
- 試合者が鏝ぜり合いを解消しない場合、すぐに「分かれ」をかける。
- 試合終了後に当該試合の反省を行う場合は、1m以上の間隔を空ける。

- 審判員の試合場への入退場は、1 m以上の間隔を空けて行き、副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む。
- 合議は、1m以上の間隔を空けて行う。

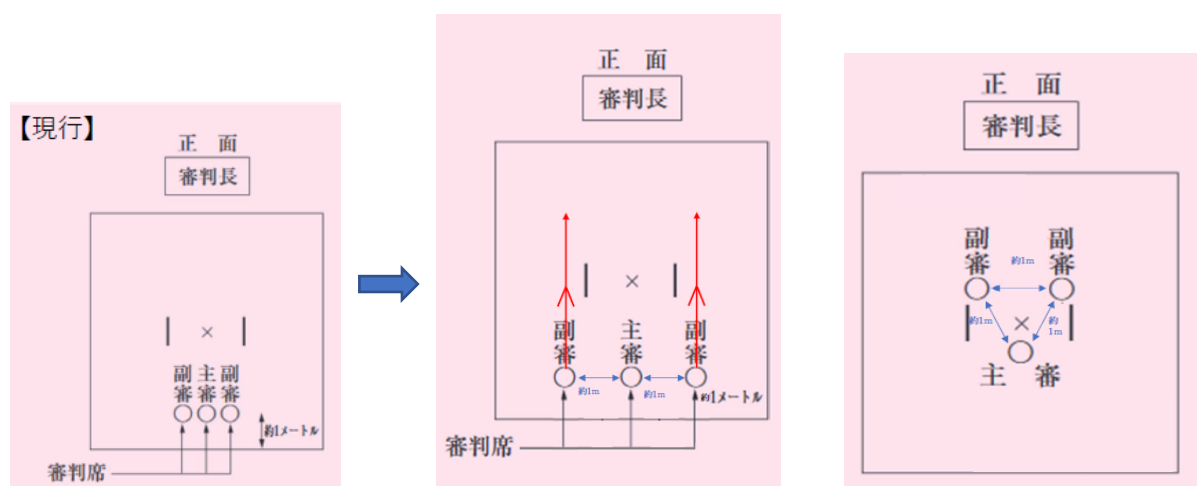
#### 【別添 1】

剣道試合・審判運営要領 p 14 審判員の移動・交替要領

第 1 図 審判員の入場および整列

#### 【別添 2】

審判員合議時の位置



#### 【竹刀検査】

- 検査を受ける人はマスクを着用し、検査員はマスクと使い捨て手袋を着用すること。
- アクリル板等で検査員と検査を受ける人を仕切ること。
- 検査⇒退場のルートを一方通行にすること。
- 待機時に間隔をとること。(床にテープを貼るなど位置を決めておく。)

#### 【観客】

- 観客は、当該大会の要項等によって定められた人数に限定し、事前に氏名および連絡先を大会事務局に報告した人に限る。
- 観客席で見学をし、試合会場内には入らない。
- 応援は拍手のみとし、**声援は禁止**とする。
- 観客席で座る時は、必ず**隣と1席空けて**座る。



## 運営上の留意事項①

- 大会当日、係員は必ずフェイスガード・マスクを着用する。
- 施設に入場する時に、申込者名簿により入場者の検温を実施する。
- 大会参加者確認票を必ず持参すること。忘れると会場に入れない。

大会参加者確認票	
所属剣道連盟	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>
年齢	<input type="text"/>
審査当日の体温	<input type="text"/>
緊急時連絡先電話番号（本人以外の家族等）	<input type="text"/>

※受審当日に必ず会場にご持参ください

- 受付で参加者が密集して並ばないように、約2m間隔で床にテープを貼って距離を保つようにする。
- 施設内の数か所にアルコール消毒液を設置する。  
各試合場にアルコール消毒液・ティッシュを設置する。
- 人が触れる所（ドアノブなど）は、定期的にアルコール消毒する。
- 参加者は、観客席を控え場所として使用する。観客席が密にならないように、一つ置きに使用するようにする。
- 会場内の室温・換気には充分注意する。



換気を行います

## 運営上の留意事項②



- 大会には必ず救護係（医療関係者）を配置する。
- 開会式および閉会式は、簡素化して短い時間で行う。  
特に開会式では密にならないように、当面の間「選手整列」は実施しない。
- 会場内の入口と出口を明確に分ける。出入口の数をある程度限定する。
- 大会終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告をすること。

## 大会の中止について



～下記の場合は大会を中止する～

- ①全日本剣道連盟より大会中止の要請がある場合
- ②新型コロナウイルス感染症について、福岡県が「感染拡大注意都道府県」に分類されている場合
- ③大会当日、午前6時時点で暴風警報発令中の場合